

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6118	(H.24)No.	6118
-----------	------	-----------	------

事務事業名		文化振興費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	文化生涯学習室	杉本一徳	63-7892
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	1	市民文化
	小施策	1	文化芸術活動の振興
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	501501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 教育費	文化振興費	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 文化振興費	文化振興費	

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>庶務経費及び市民文化祭実施委託料。 ただし、美術展覧会経費とふるさと能文化振興経費については、別シートにて取り扱っています。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>市民文化の向上を図ります。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	需用費 19千円 委託料 700千円 報償費 4千円	旅費 6千円 需用費 19千円 委託料 700千円 報償費 5千円 [委託業務] 名張市民文化祭運営業務 (委託先)名張文化協会	補助金・交付金	その他 ()		
直接事業費	723千円	730千円	730千円	730千円	730千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()					
一般財源	(0) 723	730	730	730	730	
人工数	職員	0.15人	0.25人	0.10人	0.10人	0.10人
	臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 1,095千円	1,825千円	730千円	730千円	730千円	
+ 総事業費	(0千円) 1,818千円	2,555千円	1,460千円	1,460千円	1,460千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
成果指標	目標	1年に1回以上、文化・芸術を鑑賞したことの ある市民の割合	%	-	-	-	-	53.0
	実績			49.6	54.2	51.5	50.7	
	目標							
	実績							

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価・各指標等)	今後の対応方針
市民文化祭の内容のさらなる充実が必要。	公民館で独自で活動しているサークルや既存文化団体との交流を活発化する。市民文化祭は高度な技術発表の場としてだけでなく、市民が楽しんで学んでいる生涯学習活動の成果発表の場としても活用する。広報活動を積極的に行う。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
既存文化団体構成員の高齢化が懸念される。	市民文化の振興を積極的に推進すること。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	市民文化祭委託時の仕様書を工夫する。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	文化振興を目的とした小事業が多く設定され、“小事業の縦割り”によるデメリットが大きいため文化振興事業に統合することで解消が可能。現行では、あまりにも少額の小事業となっている。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	年度ごとに創設される国県等の補助制度等。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	公民館活動との連携。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項